

障害者雇用とコロナ禍での事業所運営を考える

受講者の感想より

■障害者雇用実践報告「私の歩んできた道」について

- ・障害者の就労定着には、家族の協力や企業の協力が不可欠だと改めて感じました。板村さんが夢を叶えられるよう応援しています。
- ・周囲のサポートが大事なのだと改めて実感した。
- ・利用者ご本人の話を聞き、改めて支援者として何ができるのか、利用者の希望に沿った支援とは何なのかを考える機会になりました。また、社会に対する働きかけが必要なことも再認識しました。
- ・合理的配慮は双方（本人・職場）の理解と思いやりだと思いました。一番はご本人の努力だと思います。お互いを認め合う大切さを学びました。ありがとうございました。
- ・とても理解のある職場だと思います。企業側の声も聞いてみたいと思いました。
- ・板村さんの色々な思いや考え方、ご両親を含めた周りの方の関りなど貴重な話を聞く事ができとても良かったです。
- ・自閉症的な利用者さんへの対応の参考になった。
- ・当施設にも一般就労を目指している方がおられるので、ルールやマニュアルづくりなど、とても参考になりました。ご自分の気持ちを資料でたくさん表現されており印象的でした。
- ・現在、一般就労されて、お仕事に悩んでおられる方から相談を受けており、実体験のお話を聞くことができ、私自身もたいへん参考になりました。ご本人にも伝えてみたいと思います。ありがとうございました。
- ・会社側の取り組みが障がい者への思いやり愛を感じます。素晴らしい取り組みです。

■講義 I 「法人運営で実践したコロナ対策」について

- ・当事業所でもコロナ禍の影響がさまざまな面に出ており、参考になりました。コロナに関する助成金の活用、会議の在り方も参考になりました。
- ・法人本部の方向性を共有し、部署ごとの対応ではなく、法人全体一体となって取り組むことの必要性を学ぶことができた。
- ・色々な事業所がある中で法人全体としてどう対応していくか、明確に示す事が具体的に対応していく事に繋がると理解できました。
- ・各自で行動記録をつけられているところ、会議の進め方（時間を決められている）が、参考になった。
- ・コロナの感染防止対策と経費削減の取り組みなど、とてもわかりやすい説明でした。

■講義Ⅱ「セルプ藤山で実践したコロナ対策」について

- ・取扱商品の見直し・廃盤の検討など、この時期に行うことは必要なことであつたでしょうが、お話にもあつたようにさまざまな意見もあり、大変なことだつたと思います。
- ・コロナ禍での様々な影響や対応、対策について学ぶことができた。協働の大切さ、業務の見直し等、マイナスをプラスに変える柔軟な視点は大変参考になつた。ありがとうございます。
- ・コロナウイルスという危機的状況において組織全体として対応すること、これまでの業務や作業手順を見返す再検討することでより良い方向性が見えてくるのが具体例を通してより理解することができました。
- ・作業工程の見直し、作業場の整理、職員の意識改革など、やってみたいと思う。
- ・コロナ禍で大変なことが多い中、今できること（作業の見直し、職員の意識改革など）実施されており、とても参考になりました。
- ・回収した古着の搬入について、配慮されていることがあれば知りたかつた。いろいろなところからの搬入した物品の消毒など、コロナ感染はないと考えてよいのでしょうか？

■研修会全体の御意見、御感想

- ・現在最も重要な事項の一つでもあるコロナの対応と、当事者の方の想いなどその内容も、とても貴重なものでした。